

## インフルエンザ

### - ウイルス分離状況 -

今冬に国内で分離されているインフルエンザウイルスは、分離件数の多い順に、A 香港型(3月8日現在の全国報告数 2405 件)、A ソ連型(同 526 件)、B 型(同 31 件)です。

埼玉県においても同様の状況であり、3月10日までの県内のウイルス分離数は A 香港型 47 件、A ソ連型 21 件、B 型 3 件、C 型 1 件です。この他、同時期に呼吸器感染症が疑われた県内の検体からはアデノウイルス 2 型などが分離されています。県内のインフルエンザウイルス分離状況を検体採取週別(図 1)および年齢階級別(図 2)に示しました。

図 1 インフルエンザウイルス分離数(検体採取週別)

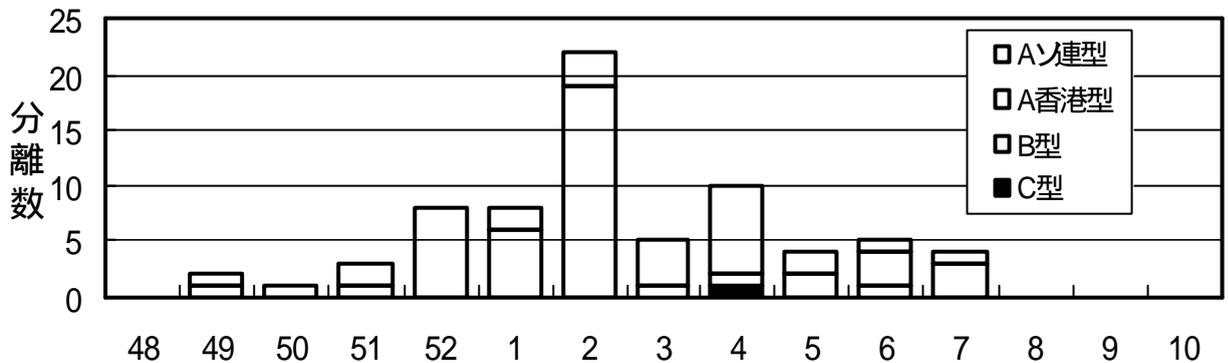
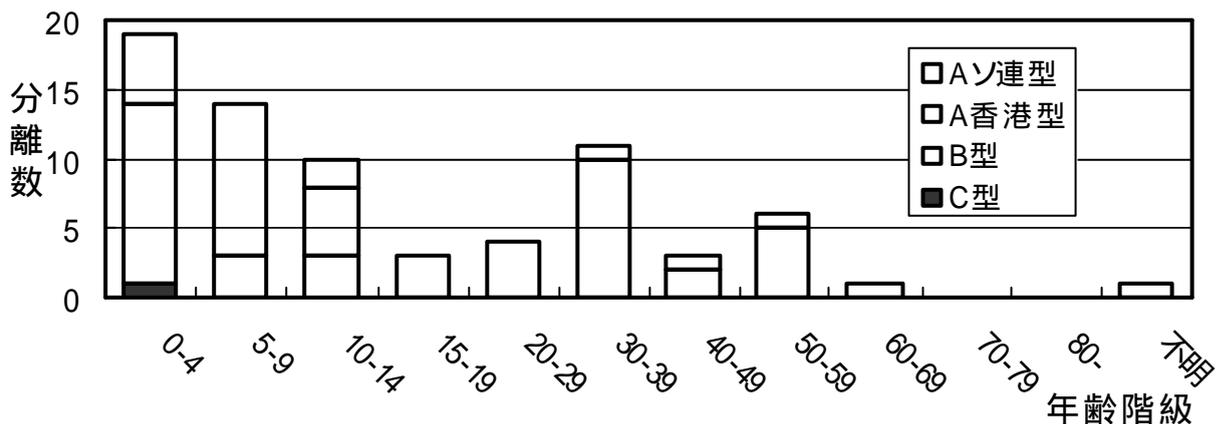


図 2 インフルエンザウイルス分離数(年齢階級別)



今冬のインフルエンザ流行のピークは過ぎたと思われませんが、近年の流行は春先まで続くことが多いので、まだしばらくは注意が必要です。

病原体定点の先生方には、引き続き検体採取に御協力をお願いいたします。

インフルエンザに関する全国情報は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.gov/jp/iasr/index-j.html>)で御覧いただけます。